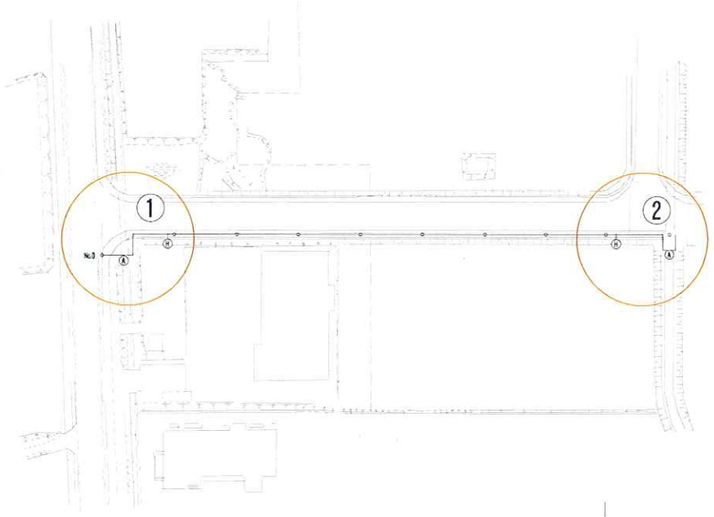
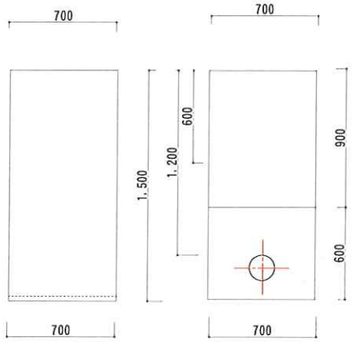
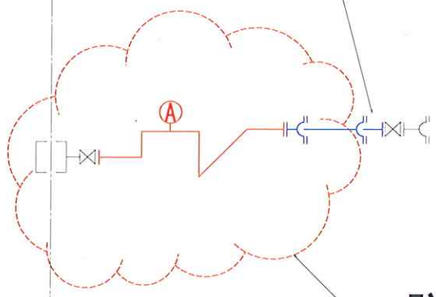


NO1水管橋

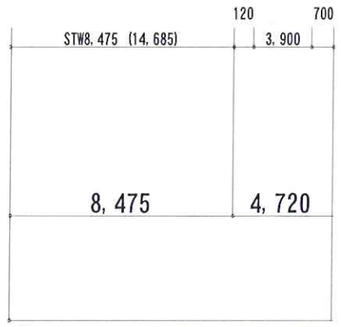
標準土工図 S=1：20



φ150 D-K短管1号
φ150 D-K甲切管 L=3900
φ150 D-K短管2号



詳細図別紙参照

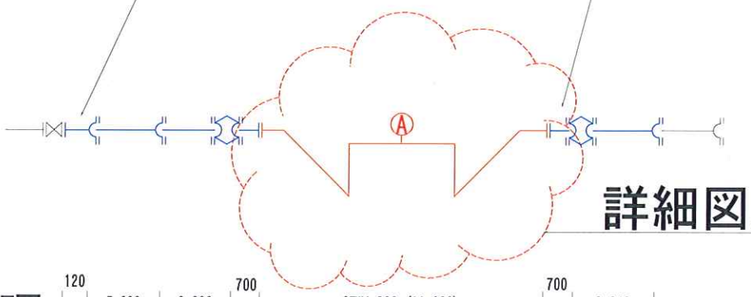


全長 L=13,195m (19,405m)
STWφ150 L=8,475m (14,685m)
DIP-Kφ150 L=4,720m

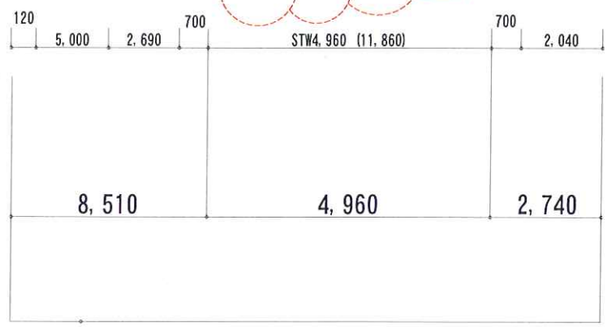
NO2水管橋

φ150 D-K短管1号
φ150 D-K乙切管 L=2690
φ150 D-K継輪
φ150 D-K短管2号

φ150 D-K短管2号
φ150 D-K継輪
φ150 D-K甲切管 L=2040



詳細図別紙参照



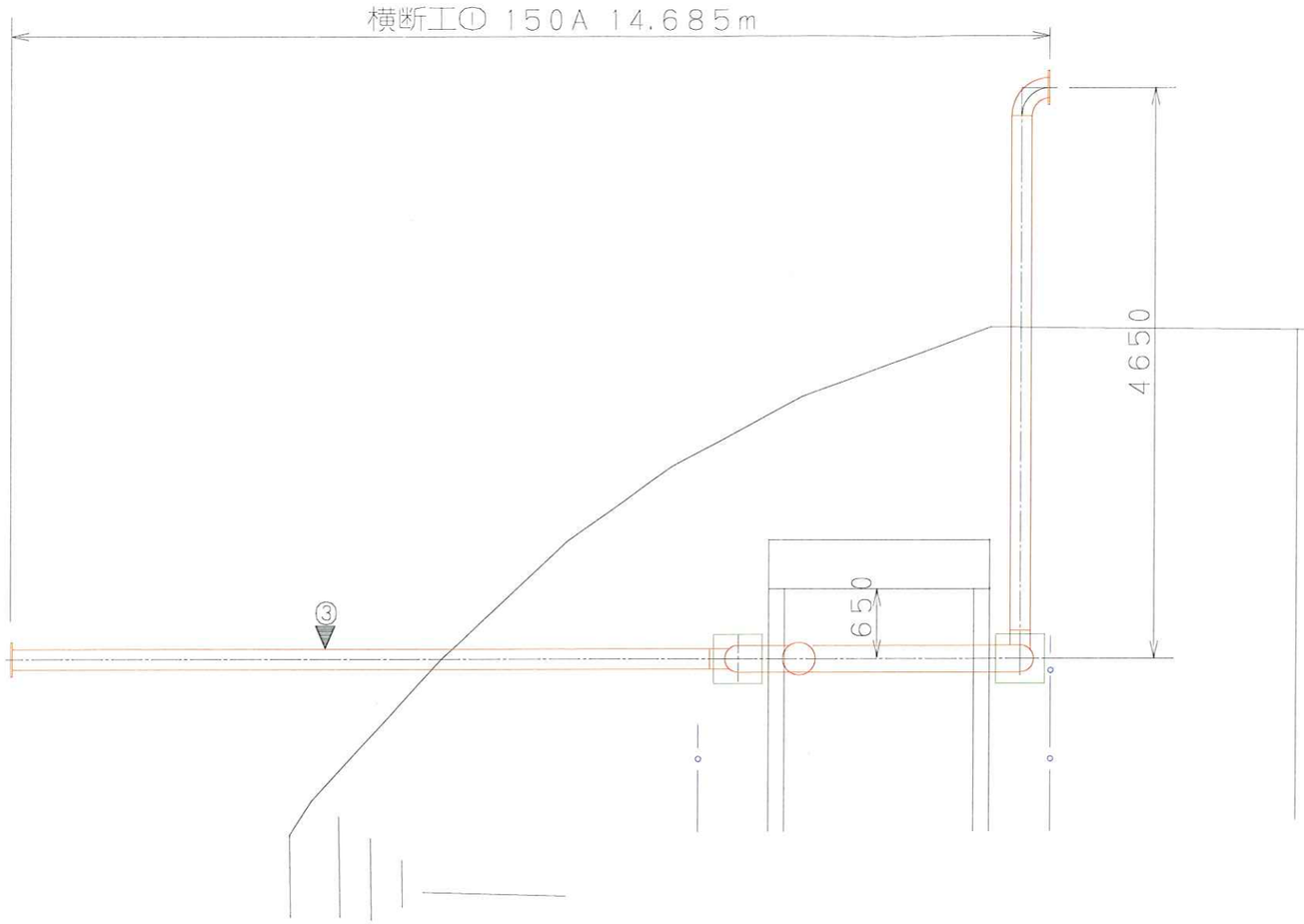
全長 L=16,210m (23,110m)
STWφ150 L=4,960m (11,860m)
DIP-Kφ150 L=11,250m

工事番号			
路線名			
箇所	角田市 梶賀 字 高畑北 地内		
工事名	令和8年度橋梁添架管布設替工事		
図面名	平面図・土工図・管割図 NO1・2		
縮尺	図 示	位置	
設計者		設計年度	
角田上下水道事業所		図番	1/5

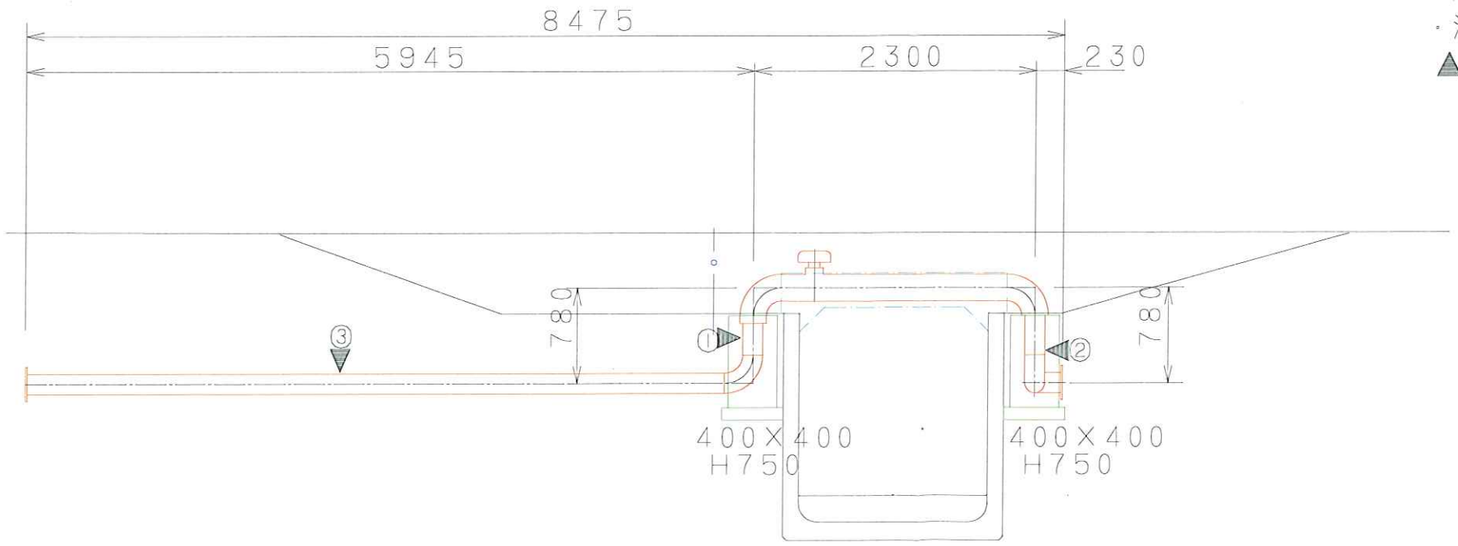
横断工① S=1:50

NO1水管橋

平　面　図



側　面　図



防食詳細図 S=FREE

埋設防食

鋼　管 φ65.2X5.0t SUS304TP
プライマー
F R P
トップコート

保温防食

鋼　管 φ65.2X5.0t SUS304TP
発泡ウレタンt=25mm
F R P
トップコート
ポリウレタン樹脂塗料 P69-50T(ブルー)

注記事項

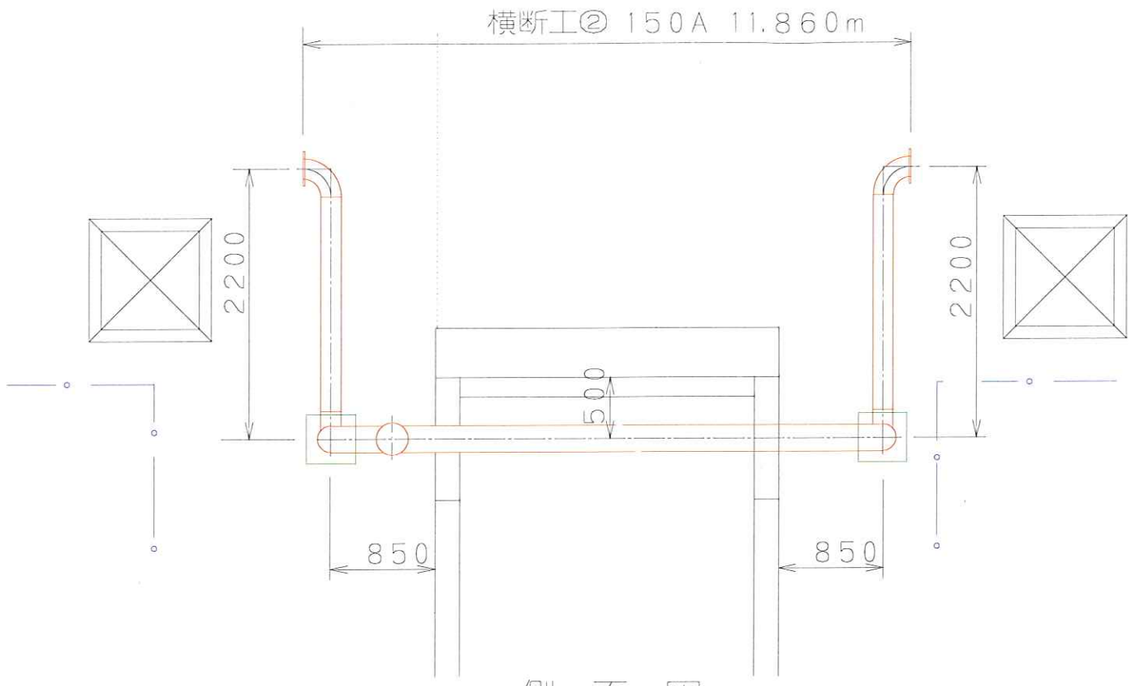
・管継手はSUS304 Sch20Sとする。
・防護コンクリートは現地状況に合わせて打設すること。
・溶接部の検査として配管後気密検査を実施する
▲：溶接箇所　N=3

工事番号			
路線名			
箇所	角田市　梶賀　字　高畑北　地内		
工事名	令和8年度橋梁添架管布設替工事		
図面名	横断工①		
縮尺	図　示	位置	
設計者		設計年度	
角田上下水道事業所		図番	2/5

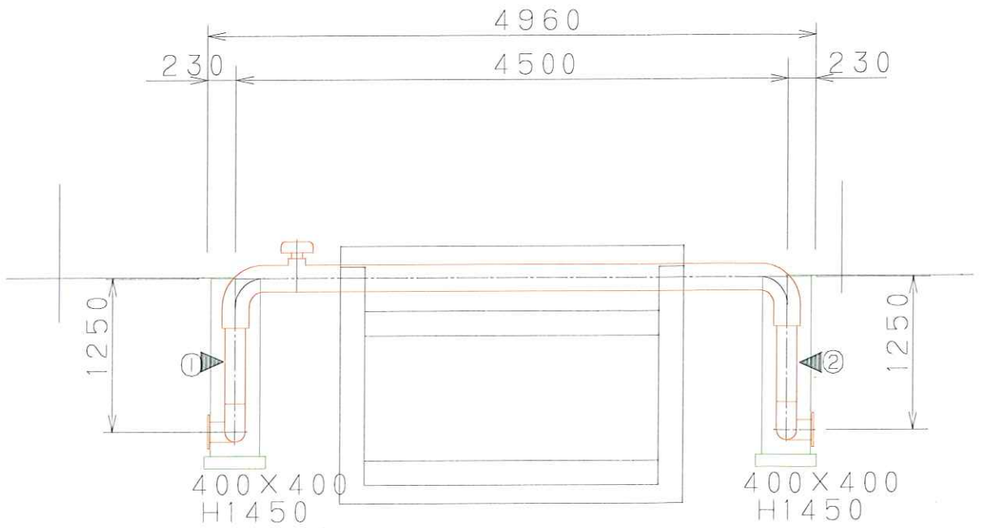
横断工② S=1:50

NO2水管橋

平　面　図



側　面　図



防食詳細図 S=FREE

埋設防食	保温防食
鋼　管 φ65.2X5.0t SUS304TP	鋼　管 φ65.2X5.0t SUS304TP
プライマー	発泡ウレタンt=25mm
FRP	FRP
トップコート	トップコート
	ポリウレタン樹脂塗料 P69-50T(ブルー)

注記事項

・管継手はSUS304 Sch20Sとする。
・防護コンクリートは現地状況に合わせて打設すること。
・溶接部の検査として配管後気密検査を実施する
▲：溶接箇所　N=2

工事番号			
路線名			
箇所	角田市　梶賀　字　高畑北　地内		
工事名	令和8年度橋梁添架管布設替工事		
図面名	横断工②		
縮尺	図　示	位置	
設計者		設計年度	
角田上下水道事業所		図番	3/5

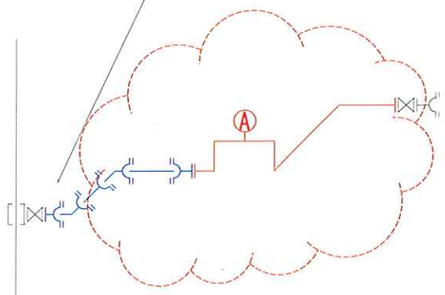
平面図

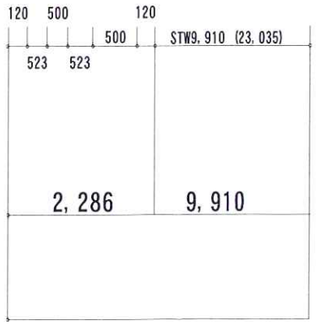


管割図

φ100　D-K短管1号×2個
φ100×45°　曲管×2個
φ100 甲切管　L＝500
φ100 乙切管　L＝500

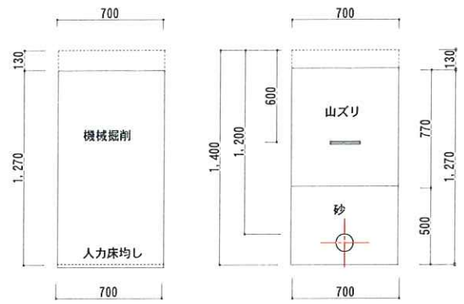
NO3水管橋　**詳細図別紙参照**





全長　L=12,196m　(25,321m)
STWφ100　L=9,910m　(23,035m)
DIP-Kφ100　L=2,286m

土工図

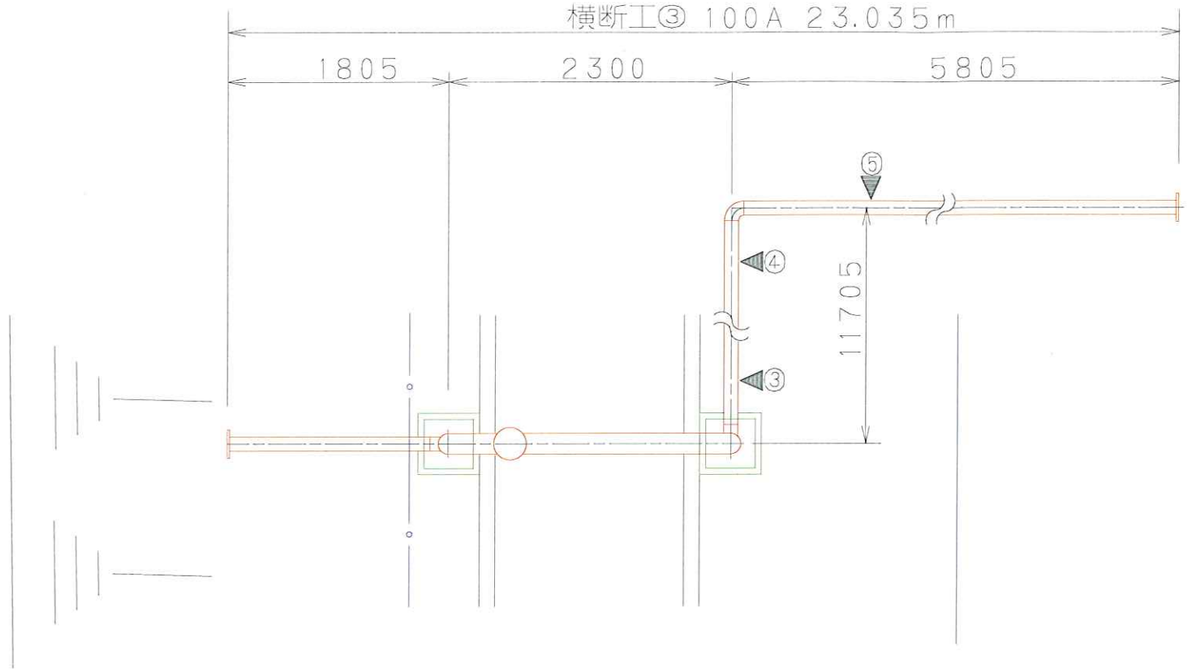


工事番号			
路線名			
箇所	角田市　梶賀　字　高畑北　地内		
工事名	令和8年度樋梁添架管布設替工事		
図面名	平面図・土工図・管割図　NO3		
縮尺	図　示	位置	
設計者		設計年度	
角田上下水道事業所		図番	4/5

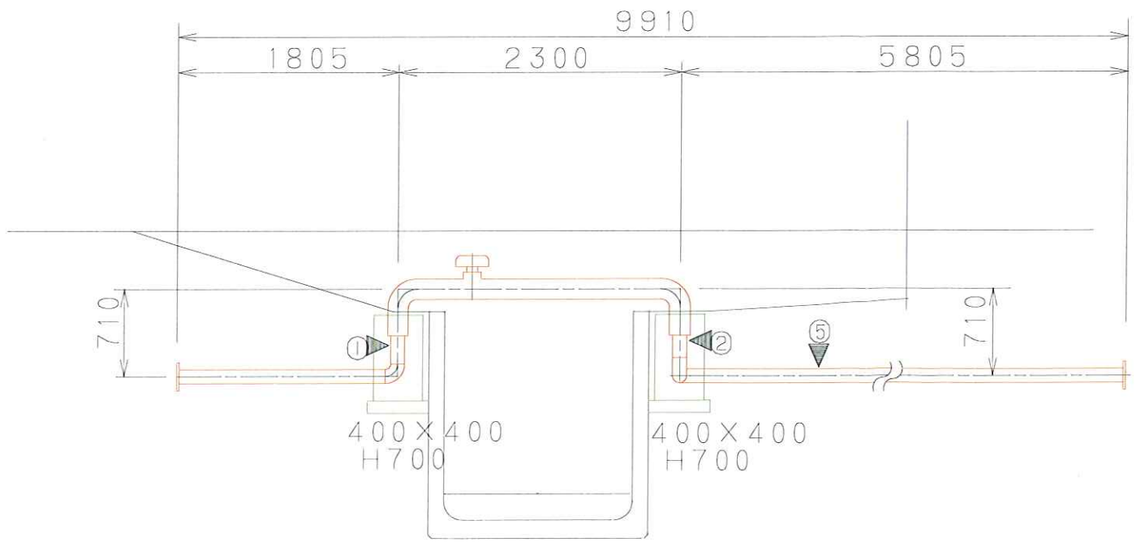
横断工③ S=1:50

NO3水管橋

平　面　図



側　面　図



防食詳細図 S=FREE

埋設防食

鋼　管 φ114.3X4.0t SUS304TP
プライマー
FRP
トップコート

保温防食

鋼　管 φ114.3X4.0t SUS304TP
発泡ウレタンt=25mm
FRP
トップコート
ポリウレタン樹脂塗料 P69-50T(ブルー)

注記事項

- 管継手はSUS304 Sch20Sとする。
- 防護コンクリートは現地状況に合わせて打設すること。
- 溶接部の検査として配管後気密検査を実施する

▲：溶接箇所　N=5

工事番号			
路線名			
箇所	角田市　梶賀　字　高畑北　地内		
工事名	令和8年度橋梁添架管布設替工事		
図面名	横断工③		
縮尺	図　示	位置	
設計者		設計年度	
角田上下水道事業所		図番	5/5